

領域プロジェクト名称	行動主体の関係性に基づいたサービス産業構造の類型化
担当教員	西野成昭
プロジェクトの狙い	サービス科学/工学の研究分野は大きな広がりを見せ、サービスに対して科学的/工学的見地からの研究が数多く行われている。しかし、現在はまだ個別的視点のものが多く、それらを体系的に説明する枠組みや体系化が出来ているとは言い難い。そのような背景をもとに、本プロジェクトでは現実の種々のサービスに対して、その構造を類型化することを目的とする。サービス類型化は、将来的には当該分野の基礎的枠組みや理論構築へ繋がるものであり、社会的意義も高いものである。
プロジェクトの内容	実社会で展開されているサービスの事例を調査し、そのビジネス形態や関連する実データを用いて本質的なサービスの構造を明らかにする。実際のサービス産業を対象にするが、含まれる業種は多種多様で、同じ業種でもその提供方法は異なる。特に行動主体の関係性からそのサービス構造を抽象化し、本質的な構造を導き出し、その類似性からそれらを幾つかのタイプに類型化していく。 また、本プロジェクトは JST RISTEX「問題解決型サービス科学研究開発プログラム」の研究プロジェクトの一部として進める。
プロジェクト開催場所	工学部 3 号館
プロジェクト計画	4 月 ・ 文献調査 ・ サービス科学/工学に関する基礎的学習 ・ 手法等に関する基礎知識の獲得 5 月 ・ 実サービスの調査/実データ収集 ・ データ分析 6 月 ・ サービス構造の類型化 ・ 発表及びレポート提出
ホームページ	http://www.css.t.u-tokyo.ac.jp